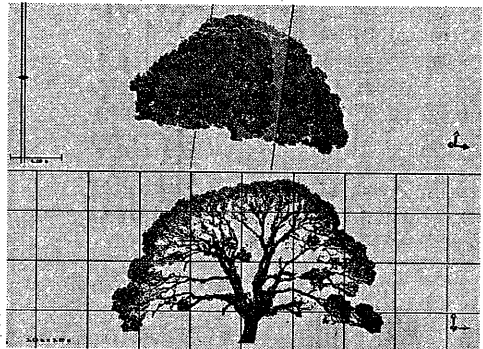


戦略

これで攻める

「夏の木陰はなぜ涼し」コピー。例えば、がけいのか。京都大学大学 崩れ現場など作業員が近院人間・環境学研究所の づけない対象物を早く、酒井敏教授は、枝葉の重 正確に測量できる。もとなりにが相似形となつて樹 もとは欧州で原子力発電木全体を形づくる「フラ 所のプラント管理技術とクタル構造」の遮熱効果 して開発され、土木工事に着目し、京大正門にあ でも利用されるようになる大きなクスノキの精密 った。二〇〇五年に機器な測量を思い立った。こ と解析ソフトを導入したれを受注したのが建設コ 地域みらいは、日本の三ンサルタンの地域みら 次元レーザー測量の草分い(石川県中能登町、北 けの一社でもある。原良彦社長)。同社の三 測量では対象物に照射次元レーザー測量とデー したレーザーが跳ね返っタ処理がクスノキのフラ てくるまでの時間を測定クタル構造を裏証した。 して三次元の座標上の点三次元レーザー測量 を確定する。精度は百分は、いわば「立体カラー 先の対象物について誤差

地域みらい



京大正門のクスノキの3次元測量データ

「メモ」一九七二年設 立の建設コンサルタン ト。北原良彦社長は二代 目で、八四年に就任する までゼネコンのフジタで 土木設計の技術者をして いた。本社は石川県中能 登町で、金沢市に支店が 元モデリングの技術開発 いう。

と商品化」が、石川県が ザー照射の密度を変えろ 運営するファンドの助成 など、測量作業にもノウ ハウがある。民需では対 象物が多岐にわたるう がける計画情報研究所 (金沢市) も運営してい る。

その一例が〇七年に大 京・大田)製で、同じ機 器を導入する建設コンサ ルタントも増えている。 将来は受注競争に巻き込 まれる可能性もあるが、 メラの写真から立体デー タを抽出する技術などを 手がける。公共事業に依 存する建設コンサルタン トから、「三次元」の各 種計測とデータ処理を総 合的に扱う新しい業態へ の転換を図っている。 四年前、レーザー測量 機器に数千万円の投資を 決断した北原社長。「こ れがなければ、夢はなか

3次元測量で民需開拓

が三ミリのほど。レーザー 後は、海に向かって崩 の方向を変えながら一秒 落した絶壁を一週間ほど 間に約五千回の照射を繰 返し、専用ソフトを駆 使して点を線に、線を面 につなげていく。 二年前の能登半島地震 航空写真による測量も難 しい崩落箇所があったと する民需の高まりだ。

あまり高くない。 期待をかけるのは、ク 点をつなぎ合わせるレ ープリンク作製といった学 術研究分野のほか、精密 と 化するカーブで構成され 建物の外部と内部な の地点から測量する場 合、ズレが生じないよう にデータをつなぐには熟 練の技術を要するとい った」と振り返る。

北陸

電話 福金通 井沢山 00776611243322113344316013